

第23回山形県地方港湾審議会

# 酒田港港湾計画(案)の概要

改訂 -

平成18年 4月

酒田港港湾管理者

山形県

## 目 次

---

1 .	港湾計画の趣旨	
1 - 1	酒田港長期構想 .....	1
1 - 2	長期構想と港湾計画の関係 .....	2
2 .	港湾計画の改訂(案)	
2 - 1	港湾利用のゾーン計画.....	3
2 - 2	施設計画(案)	
	施策1「物流機能の強化」 .....	4
	施策2「外郭施設の拡充」 .....	5
	施策3「臨港交通体系の強化」 .....	6
	施策4「イベント船、旅客船への対応」 .....	7
	施策5「プレジャーボートスポットの確保」 .....	8
	施策5 - 1「小型船等だまりの確保」 .....	9
	施策6「親水空間の確保」 .....	10
	施策7「防災機能の拡充」 .....	11
	参考資料 貨物量推計	
参 - 1	取扱貨物量の現状 .....	12
参 - 2	将来取扱い貨物の推計(まとめ) .....	13

1. 港湾計画の主旨

1 - 1. 酒田港長期構想

酒田港の将来像

酒田港はその昔、奈良・平安の時代には対岸の渤海国と交流し、江戸時代には北前船の西廻り航路の寄港地として、遠く上方、江戸との舟運によって栄えた港です。

30年後の酒田港、その地理的条件と歴史の経験を活かし、日本海側のゲートウェイを目指します。

酒田港は、物流、環境、親水、防災と多岐に渡る役割を担っており、酒田港長期構想では、山形県のみならず酒田港から東北のみならず酒田港へ、さらに北東アジア地域の核となる港へ変貌するために必要な取組みを提案しています。

長期構想の根底にあるもの、それは北東アジア地域全体が豊かになる「国際公益の精神と行動」です。

「北東アジア地域への貢献」  
国際公益拠点港

【国際公益拠点港とは】

港は経済活動を行うために必要不可欠な社会資本です。

酒田港長期構想では、単に物流機能の充実にとどまらず、国民と北東アジア地域への安全な食の提供やリサイクルの推進による地球環境の保全、さらに広域的な災害時支援ネットワークの形成など、北東アジア地域全体の幸せを行動の基本としています。

国際公益拠点港とは、具体的な港の機能や施設を指すのではなく、国際的な公益の精神をもって行動する港を「国際公益拠点港」と位置付けています。

30年後の北東アジア地域の姿

自由貿易地域の形成などにより、国境の垣根は低くなり、グローバルな地域連携の取組みが進むことによって、域内での物と人の交流が盛んになると考えます。

また、地球環境の悪化に歯止めを掛けるために、環境保全に対する広域的な取組みが進んでおり、さらに大規模災害などへの備えとして、広域的な災害時支援ネットワークが形成されていると考えます。

<物流機能>

①北東アジア地域の物流の拠点となる酒田港

- 目標 - 1 使いやすい物流拠点の形成
- 目標 - 2 北東アジア地域と東北地方を結ぶ日本海側のゲートウェイの形成
- 目標 - 3 日本と北東アジア地域の食を守る食糧備蓄拠点の形成

目標達成に向けた取組み

- 01. 港湾施設の適切な整備と質の高い港湾サービスの提供
- 02. 国際輸送ルートの拡充と交流の促進
- 03. 食糧備蓄基地の実現

<リサイクル機能>

②北東アジア地域の循環型社会に貢献する酒田港

- 目標 - 1 広域的リサイクルネットワーク拠点の形成
- 目標 - 2 地域における循環型社会の形成
- 目標 - 3 多様な資源を活用した環境に優しいエネルギー供給拠点の形成

目標達成に向けた取組み

- 01. 循環資源総合拠点の実現
- 02. 環境保全先進地域の実現
- 03. 新エネルギー開発・供給基地の実現

<親水機能>

③国際交流と、憩い、レジャー、学びの場となる酒田港

- 目標 - 1 賑わい空間の創造による北東アジア地域との交流拡大
- 目標 - 2 水が育む新しい湊まち文化の創造
- 目標 - 3 誇れる酒田湊の歴史と文化の次世代への伝承
- 目標 - 4 豊かな自然との共生

目標達成に向けた取組み

- 01. 「国際交流拠点」を活用した湊まちづくり
- 02. 「親水空間」を活用した湊まちづくり
- 03. 「歴史・文化」を活用した湊まちづくり
- 04. 「美しい景観」を活かした湊まちづくり

<防災機能>

④北東アジア地域の防災拠点となる酒田港

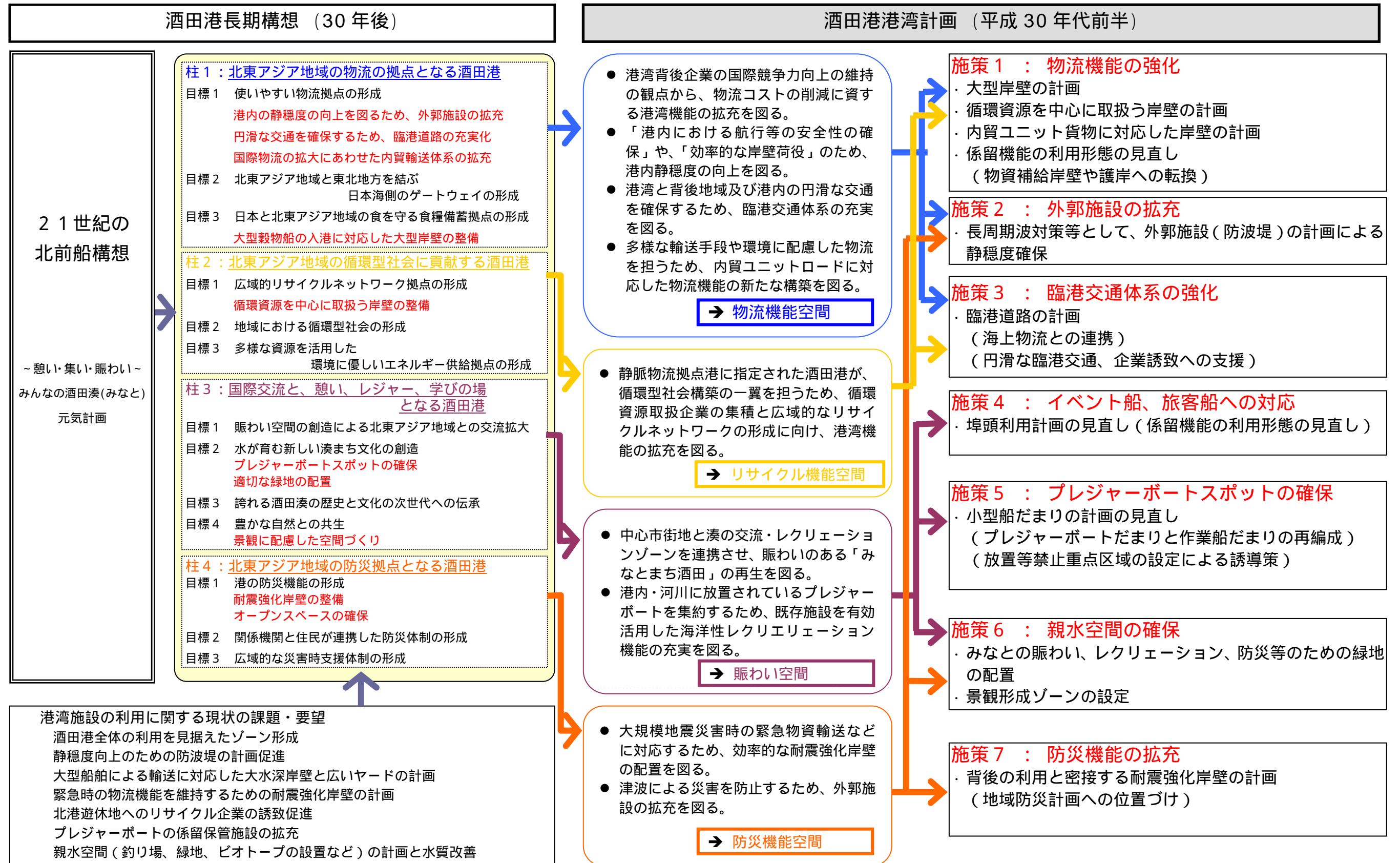
- 目標 - 1 港の防災機能の形成
- 目標 - 2 関係機関と住民が連携した防災体制の形成
- 目標 - 3 広域的な災害時支援体制の形成

目標達成に向けた取組み

- 01. 防災拠点を活用した災害に強い港の実現
- 02. 地域連携による安全・安心な港の実現
- 03. 広域的な災害時支援ネットワークの実現

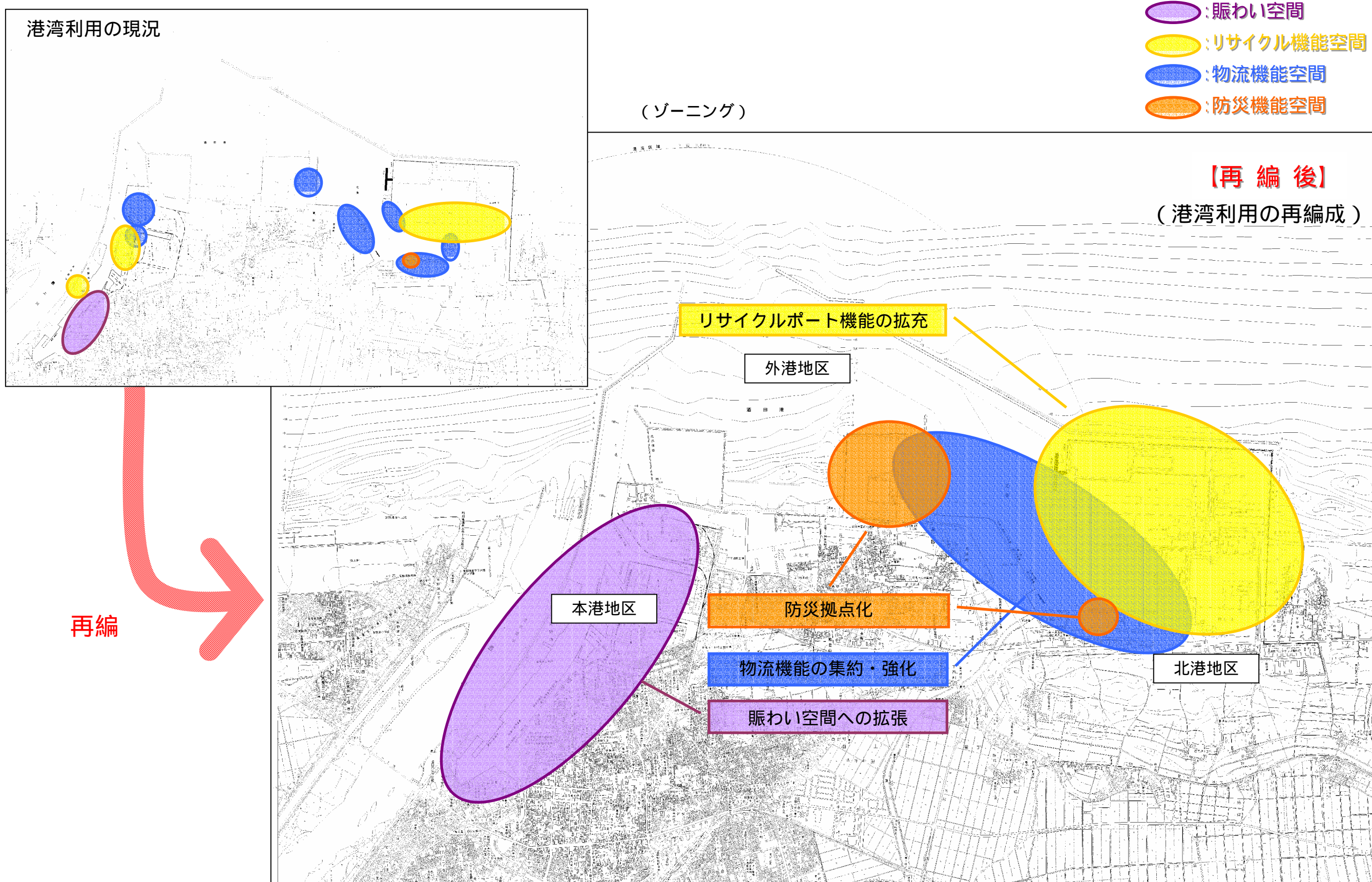
1 - 2 . 長期構想と港湾計画の関係

港湾計画は、おおむね30年後の長期的な視点によって検討している「酒田港長期構想」のうち、物流機能の強化等、中期的な課題に対応するため、平成30年代前半を目標年次とし以下の方針で整理するものとする。



2. 港湾計画の改訂(案)

2-1. 港湾利用のゾーン計画



## 2 - 2 . 施設計画(案)

### 施策1 「物流機能の強化」

#### 【長期構想の目標】

- 柱1 北東アジア地域の物流の拠点となる酒田港  
使いやすい物流拠点の形成  
北東アジア地域と東北地方を結ぶ日本海側のゲートウェイの形成  
日本と北東アジア地域の食を守る食糧備蓄拠点の形成
- 柱2 北東アジア地域の循環型社会に貢献する酒田港  
広域的リサイクルネットワーク拠点の形成

#### 【港湾計画での対応】

##### 計画の方針

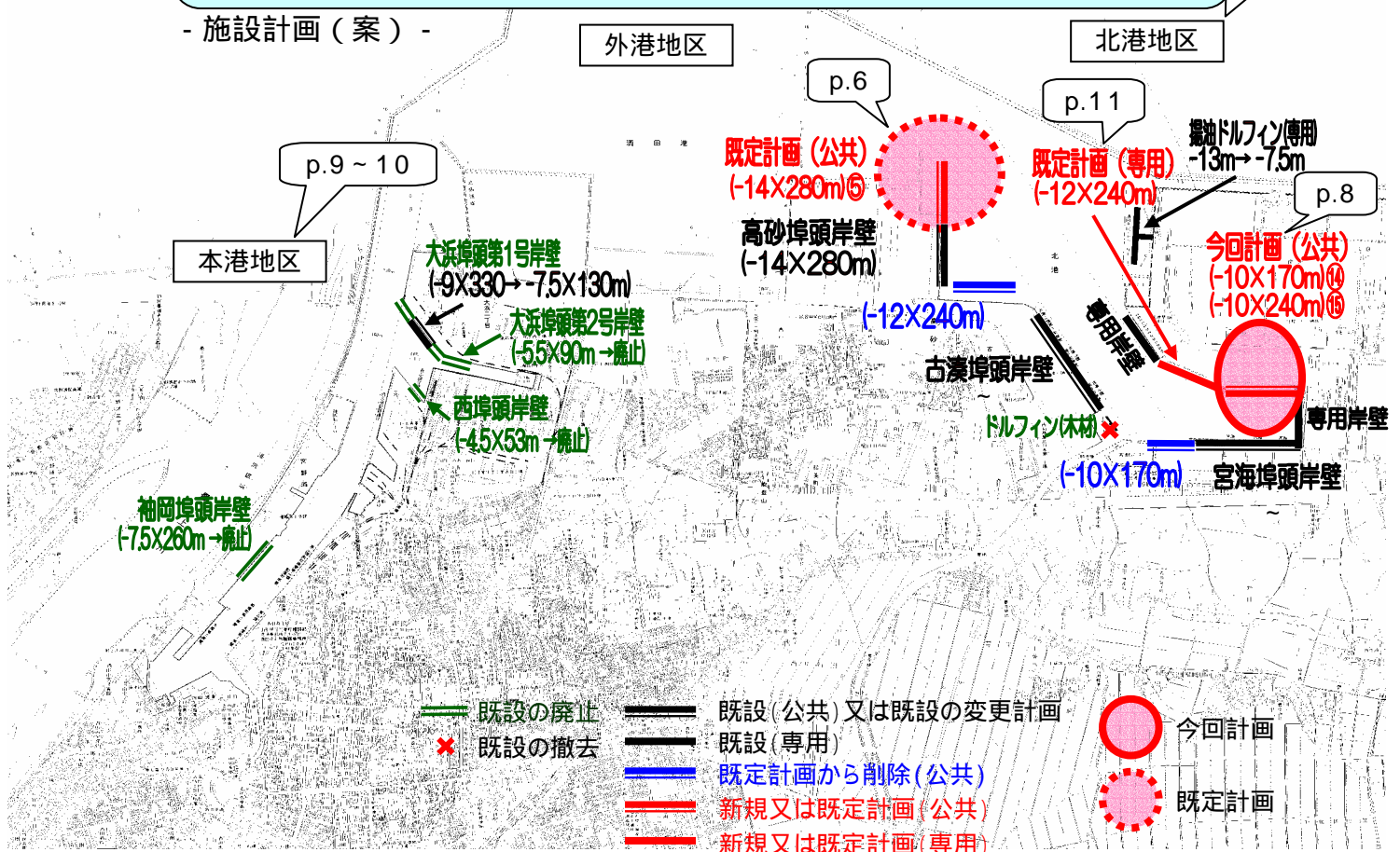
- ・ 原塩、穀物等を仕出港からの大型船舶によるダイレクト輸送に対応する。
- ・ リサイクルポートの指定に伴うリサイクル関係企業の集積(北港地区遊休地の活用)とその海上輸送へ対応する。さらには、「庄内リサイクル産業情報センター(仮称)」の展開に向けた土台づくりに対応する。
- ・ 県背後圏で生産・消費されるユニット貨物を海上輸送で対応する。

##### 施設計画(案)

- ・ 大水深岸壁を計画する。(外港地区)
- ・ リサイクル貨物を取扱う岸壁を計画する。(北港地区)
- ・ RORO船による内貿ユニット貨物を扱う岸壁を計画する。(北港地区)

p.7 ~ 11

#### - 施設計画(案) -



## 施策2 「外郭施設の拡充」

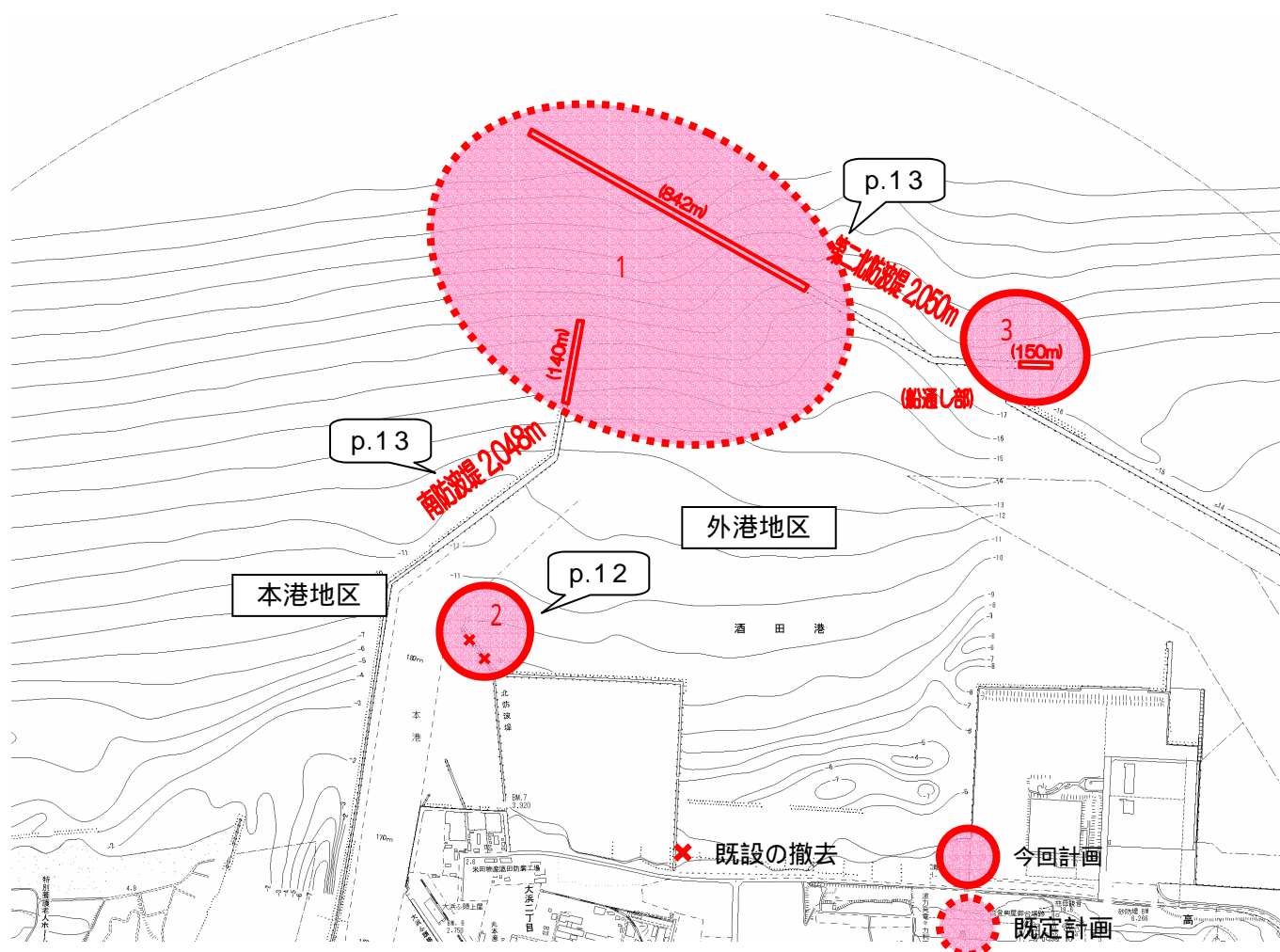
### 【長期構想の目標】

- 柱1 北東アジア地域の物流の拠点となる酒田港  
使いやすい物流拠点の形成
- 柱4 北東アジア地域の防災拠点となる酒田港  
港の防災機能の形成

### 【港湾計画での対応】

- 計画の方針
- 長周期波対策等として港内静穏度の確保と、うねりによる航行障害への対策により、いつでも安全で安心な港湾を目指す。
- 施設計画(案)
- 外郭施設(防波堤)を計画する。(本港地区・外港地区)

### - 施設計画(案) -



### 施策3 「臨港交通体系の強化」

#### 【長期構想の目標】

- 柱1 北東アジア地域の物流の拠点となる酒田港  
使いやすい物流拠点の形成
- 柱2 北東アジア地域の循環型社会に貢献する酒田港  
広域的リサイクルネットワーク拠点の形成

#### 【港湾計画での対応】

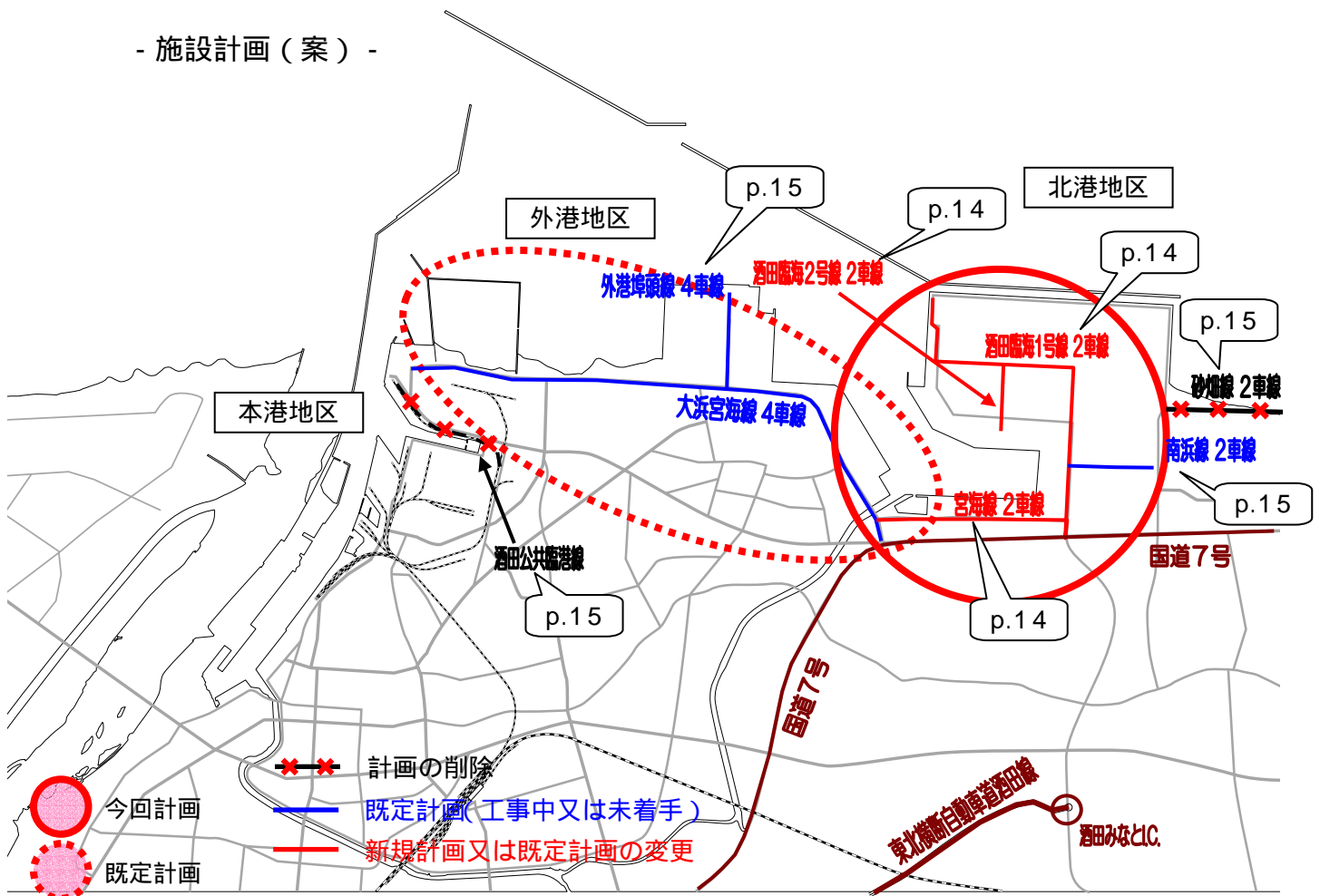
##### 計画の方針

- ・ 物流機能の向上のため、海上、陸上輸送の連携や円滑化に対応する。
- ・ リサイクルポートの指定に伴うリサイクル関係企業の集積（北港遊休地の活用）を支援するとともに、さらには、「庄内リサイクル産業センター（仮称）」の展開に向けた土台づくりに対応する。

##### 施設計画（案）

- ・ 臨港道路を計画する。（外港地区、北港地区）

#### - 施設計画（案） -





## 施策4「イベント船、旅客船への対応」

### 【長期構想の目標】

柱3 国際交流と、憩い、レジャー、学びの場となる酒田港  
賑わい空間の創造による北東アジア地域との交流拡大

### 【港湾計画での対応】

#### 計画の方針

- ・ 物流機能の集約、賑わい空間の創出に伴い、係留施設の利用形態の再編に合わせた埠頭利用を展開する。
- ・ 北東アジア地域を含めた広域交流に向けた賑わい空間の創出のため、イベント船、旅客船の受入れに対応する。

#### 施設計画(案)

- ・ 物流機能だけでなく、旅客船等の受入れを考慮した埠頭利用を計画する。  
(本港地区、北港地区)

### - 施設計画(案) -



施策5「プレジャーボートスポットの確保」

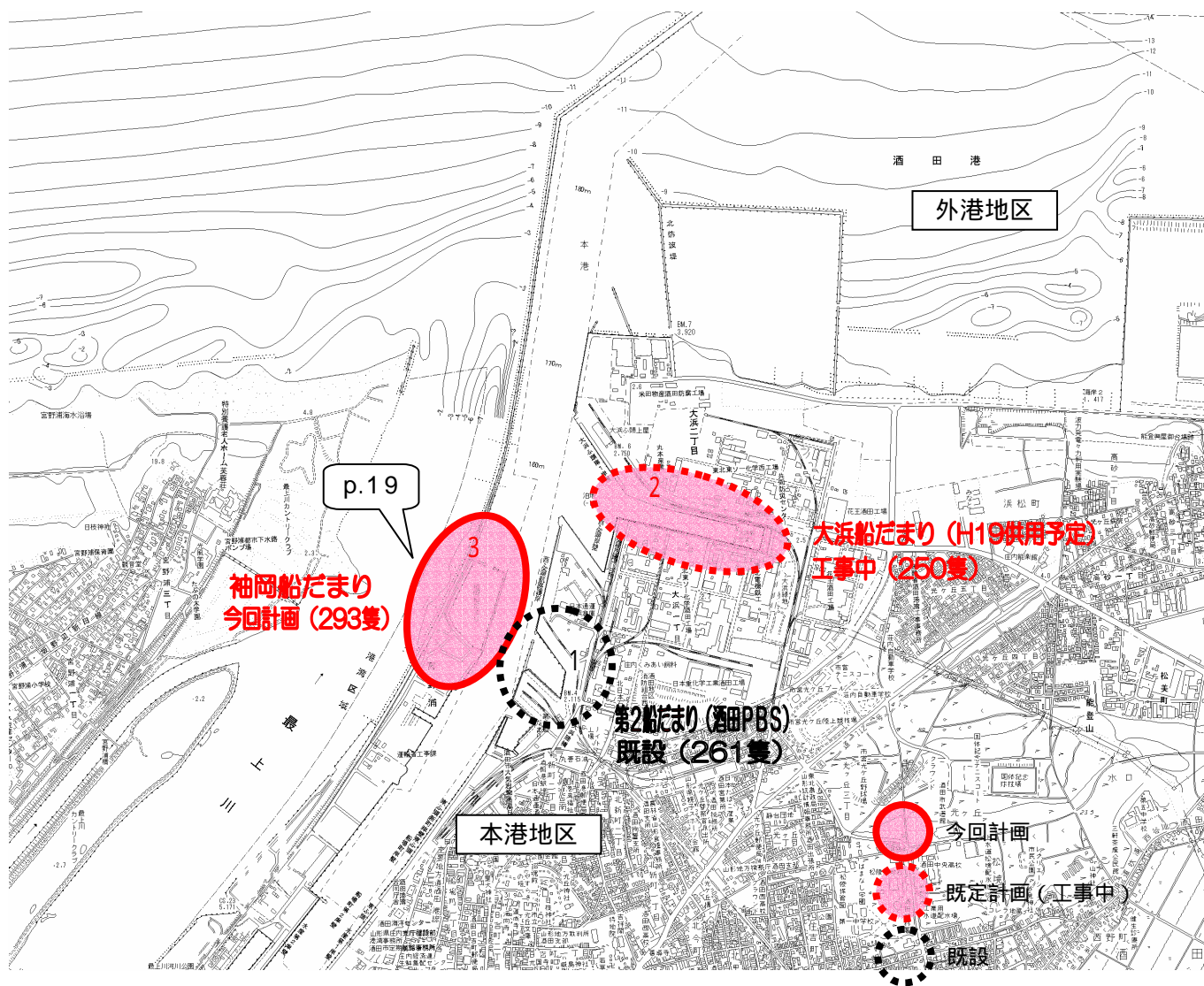
【長期構想の目標】

柱3 国際交流と、憩い、レジャー、学びの場となる酒田港  
水が育む新しい湊まち文化の創造

【港湾計画での対応】

計画の方針  
 ・依然として残る放置艇問題に対応するため、既存施設を有効活用しプレジャーボートを収容するとともに、賑わい・親水空間としての充実を目指す。  
 ・放置艇の収容施設への誘導策を考慮する。(放置等禁止区域の設定)  
 施設計画(案)  
 ・既存の港湾施設の有効利用したプレジャーボートだまりを計画する。(本港地区)

- 施設計画(案) -



施策5 - 1 「小型船だまり等の確保」(官公庁船等、作業船、漁船)

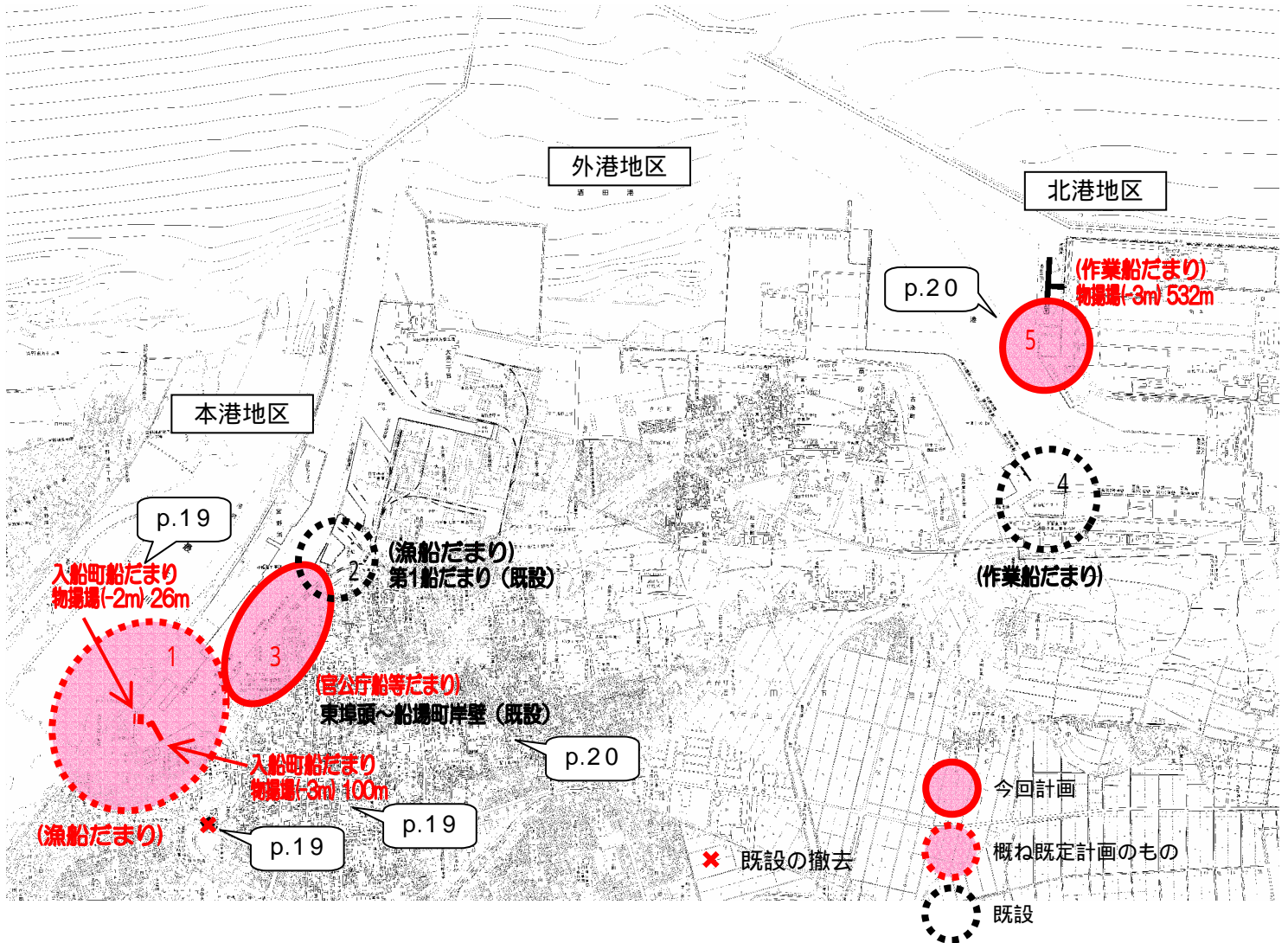
【長期構想の目標】

柱3 国際交流と、憩い、レジャー、学びの場となる酒田港  
水が育む新しい湊まち文化の創造

【港湾計画での対応】

計画の方針  
・ 小型船だまり(係留施設)の利用形態を再編成する。  
施設計画(案)  
・ 官公庁船、曳船、工事用作業船、漁船など小型船等を計画的に配置する。  
(本港地区、北港地区)

- 施設計画(案) -  
(プレジャーボートだまりを除く)



## 施策6「親水空間の確保」

### 【長期構想の目標】

- 柱3 国際交流と、憩い、レジャー、学びの場となる酒田港  
水が育む新しい湊まち文化の創造  
豊かな自然との共生
- 柱4 北東アジア地域の防災拠点となる酒田港  
港の防災機能の形成

### 【港湾計画での対応】

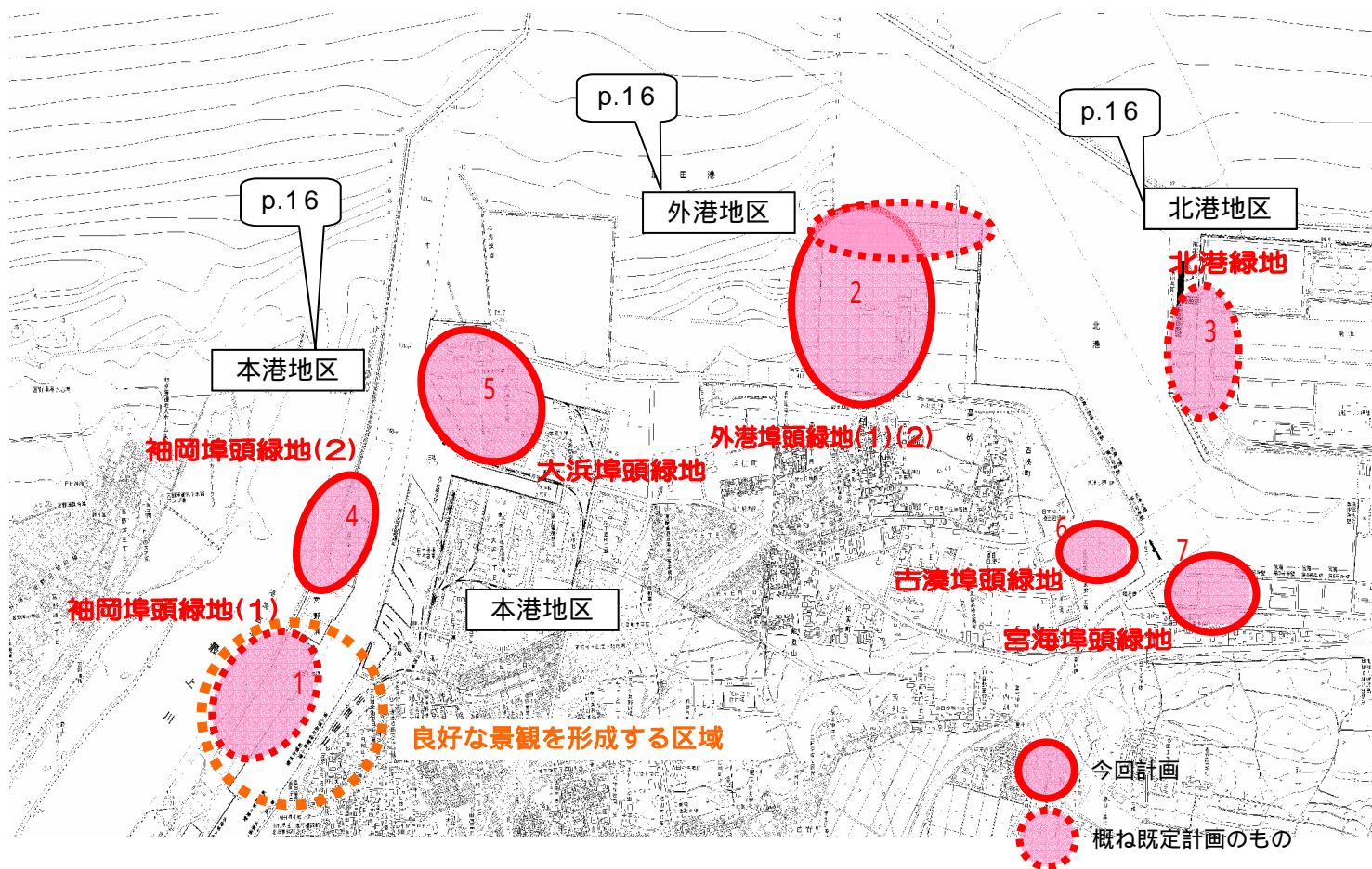
#### 計画の方針

- ・ 酒田港周辺中心市街地等とみなとの交流・レクリエーションゾーンを連携させ、賑わい空間の創造・充実を目指す。
- ・ 釣り場機能も付加した親水空間づくりを目指す。
- ・ 賑わいだけでなく、景観、視点場、防災面等も考慮した親水空間づくりを展開する。

#### 施設計画(案)

- ・ 既存の港湾施設、港湾利用の計画を考慮した適切な緑地の配置を計画する。  
(本港地区、外港地区、北港地区)

### - 施設計画(案) -



## 施策7 「防災機能の拡充」

### 【長期構想の目標】

柱4 北東アジア地域の防災拠点となる酒田港  
港の防災機能の形成

### 【今回計画での対応】

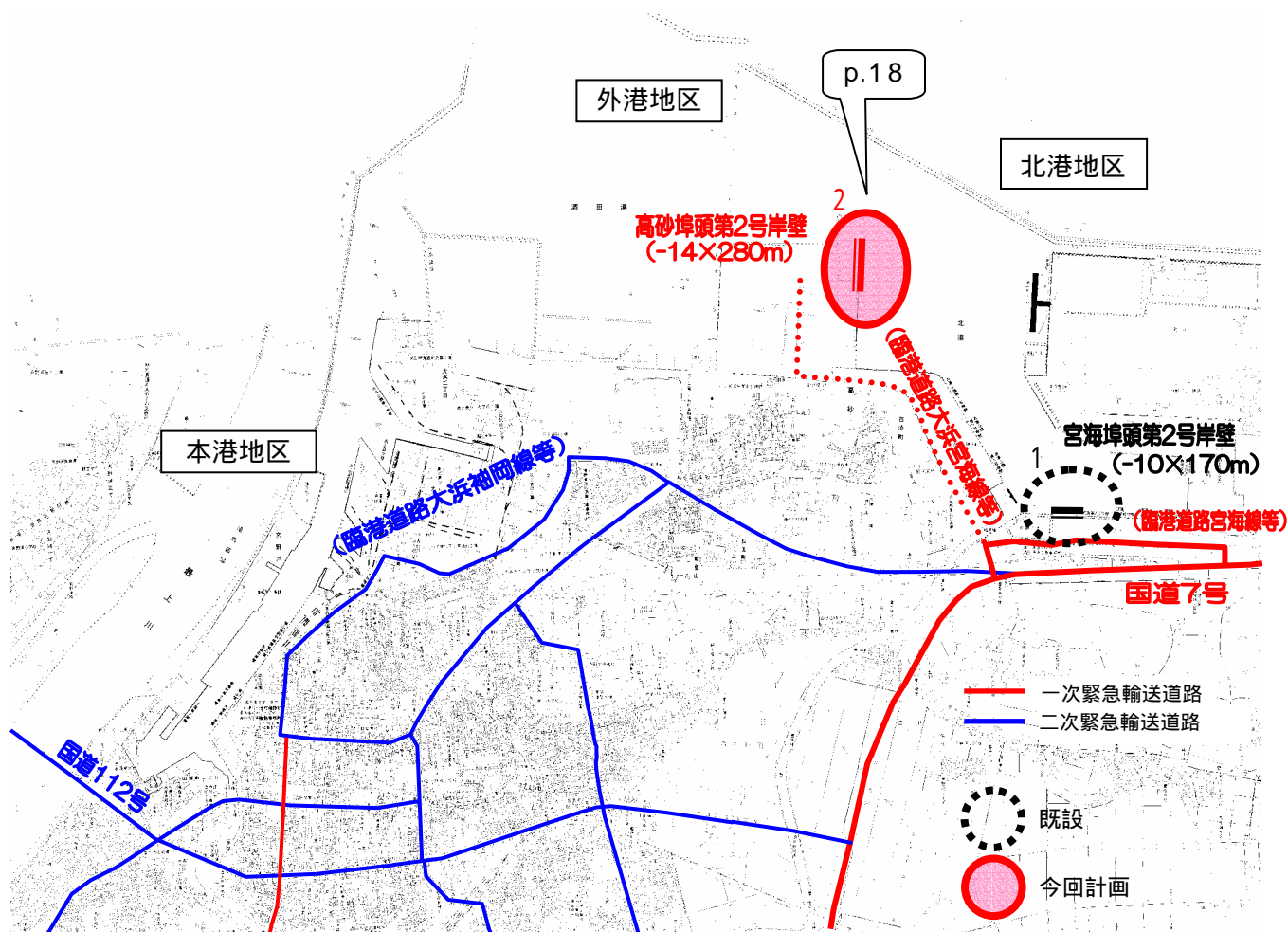
#### 計画の方針

- ・ 港湾の優位性を生かして、山形県で想定している大規模地震発生時の緊急物資輸送や救援活動受入れなど、防災機能の形成に対応する。  
(地域防災計画との連携)
- ・ 復興時の経済活動を支援する機能に対応する。

#### 施設計画(案)

- ・ 背後にオープンスペースを確保した耐震強化岸壁を計画する。  
(外港地区、北港地区)

### - 施設計画(案) -



## 参考資料 貨物量推計

### 参 - 1 . 取扱貨物量の現状

酒田港の取扱貨物量は、3,733千トン（平成16年実績）

- ・ 酒田港の取扱貨物量は、近年では350～400万トン弱で推移し、横這い傾向にある。平成15年には原発停止に伴う電力需要のため石炭輸入が増加したことにより、過去最大の取扱貨物量（4,095千トン）を記録したが、平成16年は例年程度の取扱実績となっている。
- ・ 既定計画（平成5年）での将来貨物量は約910万トンとしていたが、社会情勢の変化等により取扱貨物の大きな伸びは見られていない。

#### 酒田港の太宗貨物

- ・ 取扱貨物は、石炭、石油製品等のエネルギー貨物が最も多く、石材等、原木、セメントが太宗貨物となる。

（平成16年）	石炭	..... 1,430千トン	H15（1,724千トン）
	石油製品	..... 653千トン	
	石材	..... 705千トン	（過去最高）
	原木	..... 200千トン	H3（704千トン）がピーク
	セメント	..... 194千トン	H9（406千トン）がピーク

#### 酒田港の外貿コンテナ貨物

- ・ 平成7年（航路開設5月）から順調に貨物量は増加しており、近年でも緩やかな増加傾向にある。
- ・ 平成16年における輸出入別の割合では、輸出30%、輸入70%と輸入超過の状況。
- ・ リサイクル関連貨物の取扱量が伸びている。


H7(0千トン) H13(1千トン) H16(13千トン)

参考 H17(18千トン)【平成17年データは速報値】

参 - 2 . 将来取扱い貨物の推計 (まとめ)

企業ヒアリング、需要予測 (基準年次: 平成16年) を主として将来の酒田港での取扱貨物量を算定し、港湾計画の目標年次 (概ね平成30年代前半) での推計値とする。

既定計画 (平成5年): 約910万トン (目標年次は平成15年)

主な品目	港湾計画 (平成30年前半)		目標年次 (推計値)	長期構想 (概ね30年後)	主な利用施設
	平成16年 実績	ヒアリング、需要予測の考え方		主な内容	
一般貨物	136万トン	・ 農産品、林産品、鉱産品等の増加 ・ 中古自動車等の新規取扱い	204万トン	・ 海外から直接輸入 ・ 国産木材の輸出 ・ 庄内リサイクル産業センター稼働 ・ リサイクルポートの進展 (新たなリサイクル貨物の取扱いなど) ・ 食糧備蓄基地の整備	高砂ふ頭 古湊ふ頭 宮海ふ頭
リサイクル貨物	19万トン	・ 鉄くず等、再利用資源の増加	91万トン	・ リサイクルポートの進展 ・ 庄内リサイクル産業センター稼働	高砂ふ頭 宮海ふ頭
エネルギー貨物	208万トン	・ 実績程度	214万トン	-	-
コンテナ貨物	10万トン	・ 背後圏のコンテナ貨物の取込み ・ リサイクル貨物、農産品	35万トン	・ リサイクルポートの進展 ・ 県産品の輸出	高砂ふ頭
内貿ユニット貨物	0万トン	・ 背後圏のユニット貨物に適合する貨物の取込み	53万トン	・ 背後圏のユニットロード貨物に適合する貨物の取り扱い	宮海ふ頭
<b>合計</b>	<b>373万トン</b>		<b>597万トン</b>		

